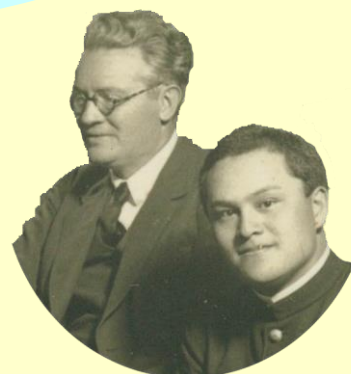


北海道大学総合博物館

「宮澤・レーン事件」80周年特別展に寄せて

宮澤・レーン事件を考えるつどい

2021年12月12日(日) 14:00~
開場 13:30



北海道大学学術交流会館 1階第1会議室

札幌市北区北8条西5丁目

アジア・太平洋戦争開戦の日1941(昭和16)年12月8日、北海道大学の英語教師ハロルド・レーンとその妻ポーリン、そして工学部の学生宮澤弘幸が軍機保護法違反のスパイ容疑で検挙されました。冤罪にもかかわらず、ハロルドと宮澤は懲役15年、ポーリンは同12年を言い渡されました。レーン夫妻は1943年日米交換船で帰国し、戦後再び北大で教鞭を取りましたが、宮澤はそのまま獄につながれ、戦後釈放されたものの1年半の後27歳で亡くなりました。

事件から80年となる今年、12月4日から2か月間にわたって宮澤とレーン夫妻の人となり、事件の真相と背景、戦後の軌跡を展示する「宮澤・レーン事件特別展」が北大総合博物館で開催されます。主催は北大総合博物館と文書館、私たち宮澤・レーン事件を考える会が協力の形で加わりました。

特別展の開催に合わせて、下記の集いを開催致します。今日までの私たちの活動の出発点を確認するとともに、これを機に運動をもう一歩前に進めるために皆さんと共に考えたいと思います。

- DVD 「レーン・宮澤事件」
—もうひとつの12月8日
- 特別展の意義と見どころ
- 「宮澤弘幸の妹・秋間美江子さんとの
出会いと宮澤・レーン事件」

山野井 孝有氏

(北大生・宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を広める会 元代表)

報告 「父・袁克勤は突如として中国で姿を消した」

袁成驥氏、武田泉氏(北海道教育大学准教授)



資料代 500円

コロナ感染拡大防止のため参加人数を制限します。参加者は必ず事前に下記にご連絡下さい。

連絡先 中原豊司 090-9510-0836 奥井登代 090-1527-9009

主催 宮澤・レーン事件を考える会 共催 ビー・アンビシャス9条の会・北海道